

2021年度 後期公開講座

講座名	琉球文化圏のヒトと文化・医療を探る視点	
講師名	近藤功行	
受講対象	限定なし	
受講定員	限定なし	
講師紹介 (プロフィール)	<p>沖縄キリスト教学院大学 教授 琉球大学大学院医学研究科博士課程修了・名古屋大学大学院文学研究科博士課程修了・大学共同利用機関法人人間文化研究機構／国際日本文化研究センター研究部客員教授(2005年度)・琉球大学医学部医学科衛生学公衆衛生学教室非常勤講師(2011～2019年度)他。</p>	
講座内容	<p>2021年9月21日(火)の満月は、終わりました。そもそも、旧暦で動いてきたヒトですが、そこに繰り広げられる民俗／民族に着目してヒトと身体影響を概観してみます。旧暦1日・15日のもつ意味とは。また、月齢とヒトの身体影響は、あるのでしょうか。そういう内容を、見つめる地域があります。奄美群島の島々です。奄美群島の島々に住む人々からすれば、沖縄は兄弟島・親島、それは、「琉球文化圏」の用語に現れています。奄美群島の島々と沖縄を探りつつ、最後は、在宅死と終末期医療の行方、将来像を探る視点でまとめてみたいと考えています。</p>	
回	講 座 計 画	日 程
1	旧暦1日・15日のもつ意味、月齢と人間の身体影響を模索する視点	11月26(金) 19:30～
2	十五夜を通してみるヒトと身体影響との関わり	12月03(金) 19:30～
3	若者また世代間を通してみる琉球文化圏の認識	12月10日(金) 19:30～
4	奄美群島の島々と沖縄を探る視点	12月17(金) 19:30～
5	在宅死と終末期医療の行方、将来像を探る視点	12月24(金) 19:30～
<p>○ 備 考(受講生が準備するもの等やその他、注意事項があればご記入ください)</p> <p>01)パワーポイントを用いて、研究の概要をお伝えします。医科学・人文社会科学の視点で展開してゆきます。 予備知識は、不要です。</p> <p>02)欠席された回がある場合、そこで展開した資料などをお届けするようにします。</p> <p>03)時間設定は、全員のご都合で変更した方がよいようでしたら、2回目以降、動かします。</p>		